7.　本時の計画

(1)　ねらい　　日常生活や社会との関連を図りながらエネルギーという視点で様々な現象を捉え、その原因や仕組みなどを考察する活動を通して、科学的思考力を育成する。

(2)　学習過程

段階	学習活動	指導上の留意点	評価
導入（5分）	[導入]学習プリントを用いて、エネルギーの変換と保存について、復習する。	事前にプリントを配付し、生徒に考えさせておく。	
	学習課題　　日本は風力発電を推進していくべきか。		
展開（35分）	[展開①] 学習プリントを用いて、日本のエネルギー資源やエネルギー消費の現状を学び、その課題を考える。	話し合いがスムーズに進むよう、全体の場で視点を示すとともに、グループの状況に応じて助言する。	与えられたグラフやデータをもとに考えることができているか。 【知識・理解】（プリント）
終末（10分）	[展開②] ディベート形式で、「日本は風力発電を推進していくべきか」という課題について、考察する。	少人数のグループ毎に行い、全員が主体的に参加できる状態を作る。	学習プリントを用いて、評価する。 ※生徒の自己評価、相互評価も行う。なお、勝敗は評価に加えない。 【思考・判断・表現】（プリント）
	[終末] ・ディベートの評価を行う。 ・学習プリントを用いて、学習のまとめを行う。	結果を全体に示し、良かった点などを共有する。 ※理解が不十分と思われる生徒へは、プリント返却時等に助言を行う。	